

ニュー シネマ パラダイス



**1989年カンヌ国際映画祭
審査員特別大賞受賞**
PRIX SPECIAL DU JURY, FESTIVAL INTERNATIONAL DU FILM CANNES 1989

1989年ダヴィッド・ディ・ドナテロ賞音楽賞受賞
〈エンニオ・モリコーネ〉

製作/フランコ・クリスタルディ
監督・脚本/ジュゼッペ・トルナトーレ
撮影/ブラスコ・ジュラート
美術/アンドレア・クリザンティ
音楽/エンニオ・モリコーネ、編集/マリオ・モッラ

NUOVO CINEMA Paradiso

フィリップ・ノワレ/ジャック・ペラン
サルヴァトーレ・カシオ/レオポルド・トリエステ/ベッラ・マッジョ

クリスタルディ・フィルム+レ・フィルム・アリアーヌ+TFIフィルム・プロダクション+RAI 3+フォーラム・ピクチャーズ製作
1989年/伊・仏合作/カラー/提供+フジテレビジョン+ヘラルド・エース+併産座シネマテン
配給:ヘラルド・エース、日本ヘラルド映画



映画から夢が広がった 大切なぼくの宝箱。

世界の名画を見る会 Vol.3



■講演: **高野悦子** (岩波ホール総支配人)
〈演題〉映画100年

■上映作品: 「ニュー・シネマ・パラダイス」(伊・仏合作)

'96 **12月15日** 日

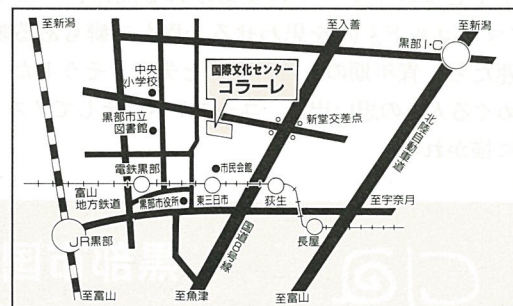
開場13:00 開演14:00

黒部市国際文化センター **コラーレ** (大ホール) 入場料/1,200円(全席自由)
当日1,500円

プレイガイド/コラーレ・黒部メルシー・ロイヤルバリー・黒部・魚津サンプラザ・入善コスモ21・朝日アスカ・インフォーマット(市民プラザ, CC)

お問い合わせ/財団法人黒部市国際文化センター
TEL(0765)57-1201 FAX(0765)57-1207

5歳未満のお子さまの入場はご遠慮願います。
一時保育を希望される方は事前にご連絡ください。



ニュー シネマ パラダイス

フィリップ・ノワレ/ジャック・ペラン
サルヴァトーレ・カシオ
制作/フランコ・クリスタルディ
監督・脚本/ジュゼッペ・トルナトーレ
提供=フジテレビジョン
ヘラルド・エース
俳優座シネマテン



配給:ヘラルド・エース、日本ヘラルド映画 

世界の映画人が絶賛! 新人の29歳G・トルナトーレに拍手!

イタリア映画界に久々に大型の新人が登場した。弱冠29歳のジュゼッペ・トルナトーレである。シチリア出身のトルナトーレは、数々の優れたドキュメンタリー映画を演出した後、ベン・ギャザラ主演の『教授と呼ばれた男』(87)で長篇劇映画の監督としてデビュー。"教授"と呼ばれた男が刑務所に居ながらイタリア全土を支配する地下犯罪組織のボスになっていく過程を、冷徹なタッチで見せ場たっぷりに描き、処女作ながら並々ならぬ力量を示した。

この『ニュー・シネマ・パラダイス』は、トルナトーレの監督第2作で、89年のカンヌ映画祭で正式出品作として上映されるや、カンヌ中を笑わせ、泣かせ、見事に審査員特別大賞に輝いた。またグランプリ作品の『セックスと嘘とビデオテープ』(89)の26歳のスティーブン・ソダーバーグ監督と並んで若手の台頭と騒がれた。

フィルムは回り トト少年の夢は広がる

『ニュー・シネマ・パラダイス』の舞台は、戦後間もないシチリアの小さな村である。この村の唯一の娯楽の場は、パラダイス座という映画館だ。主人公のサルヴァトーレ少年は、イタリアの喜劇王にちなんでか、トトと呼ばれている。そのトトは親の目を盗んで映画館に通いづめていたが、彼の心を魅了したのはフィルムの宝庫である映写室とそれを操る映写技師のアルフレードだった。始めのうち頑固者のアルフレードは、映写室という聖域から進入者のトトを追い出そうとするが、やがてふたりの間に不思議な友情が芽生える…。

トトとアルフレードの愛あふれる関係、フェリーニの『アマルコルド』(74)を思わせる一癖も二癖もある映画館の常連たち、青年期のトトの初恋と失恋、そうしたトトと彼をめぐる人々の思い出が、ユーモラスにそしてノスタルジックに描かれる。

映画への愛に満ちた感動作 全篇に甦る名画の数々!

もうひとりの重要な主人公、パラダイス座で上映される映画も、時代の変遷を物語って興味深い。

ジャン・ルノワールの『どん底』(36)やルキーノ・ヴィスコンティの『揺れる大地』(48)のキスシーンは当時の検閲でカットされて上映されるが、50年代に入って上映されるシルヴァーナ・マンガーノ主演の『アンナ』(51)では堂々とキスシーンを見せ、観客たちが固唾を飲んで見つめるシーンは見どころだ。さらにロジェ・ヴァディムの『素直な悪女』(56)では、シネスコのスクリーンいっぱいには ブリジット・バルドー B・Bの裸体が映し出され、時代の色を出している。ネオ・レアリズム映画から西部劇、そしてメロドラマに至るまで、懐かしい名画が総勢数十本! 自称映画ファン、映画フリークのあなたは、いったい何本タイトルがわかるかな?



名優と新人の ベストコンビネーション

主役の映写技師アルフレードを演ずるのは、『地下鉄のザジ』(60)のフィリップ・ノワレ。頑固だが心優しい面も持ち合わせるといふ難しい役を見事に演じている。また中年になったサルヴァトーレ役には『ロシュフォールの恋人たち』(67)のジャック・ペラン、そしてその少年時代と青年時代の役を、それぞれサルヴァトーレ・カシオとマリオ・レオナルディが好演している。特にカシオ少年の名演技は見るものに大きな感動を与えるに違いない。

他に『イタリア不思議旅』(88)でデビューした新進女優アニーゼ・ナーノ、『アマルコルド』のプベッラ・マッジョ、『青春群像』(53)のレオポルド・トリエステらが脇を固めている。

撮影は『教授と呼ばれた男』のブラスコ・ジュラート。音楽は『1900年』(76)『アンタタッチャブル』(87)の名匠エンニオ・モリコーネ。美術は『ノスタルジア』(83)のアンドレア・クリザンティ。

(上映時間:2時間4分)



黒部市国際文化センター

コラーレ

〒938 富山県黒部市三日市20

TEL (0765) 57-1201

FAX (0765) 57-1207